

【英HSBCグループ、アジア太平洋地域統括共同最高経営責任者が語る】

国際金融リーダーの使命と変革への挑戦

1865年に誕生したHSBCは、現在世界62の国と地域で約3900万人の個人および法人や機関投資家に金融サービスを提供している。

長い歴史を通じて世界の東西の国境を越えた交流と貿易の発展を支援し、重要な役割を果たしてきた。HSBCは今後、デジタル化や気候変動などの課題に取り組むため、どのように進化していくのか。アジア太平洋地域統括共同最高経営責任者のデビッド・リャオ氏に聞いた。

〈HSBC〉

伝統と革新で築いた
確固たる地位

——HSBCグループは世界でも古い金融機関の1つです。最大の強みは何だとお考えでしょうか。

デビッド・リャオ氏（以下、デビッド）
最大の強みは、国際色豊かなグローバルネットワークです。当社には、グローバルネットワークを武器に、お客様と経済の橋渡しを支援する「金融のスーパーコネクター」としてのプレゼンスを築いてまいりました。

現在は為替、貿易金融、国際決済の世界的リーダーとして、2022年だけで600兆米ドル以上の決済を処理した実績を持っています。世界の主要な経済圏を結び、世界のGDPと貿易の流れの約90%をカバーしています。当社と同じような伝統とプレゼンスを

有する金融機関は存在しないと考えています。

また、当社は香港最大の銀行であり、香港に3つある発券銀行の1つです。収益ベースでは、中国本土の主要な外国銀行でもありません。さらに、インドでは22年の輸出額の約9%相当の額を支援しました。

こうした実績が評価され、23年ユーロマネー誌から「アジアにおけるベスト・バンク」に、そして2年連続で「トレッド・ファイナンスにおけるグローバル・マーケット・リーダー」「アジアにおけるサステナブル・ファイナンス部門ベスト・バンク」に選出されました。

グローバルな接続性、多様な専門知識と視点、そして各地域についての深い知識が、私たちを際立たせた存在にしています。

——では、日本におけるビジネス

展開について教えてください。

デビッド 1866年に、日本初の支店を横浜に開設して以来、日本で事業を行っている多国籍企業に加えて、東南アジアから中東、ラテンアメリカに至るまで、国内外の日本のお客様にサポートを提供しています。日本はクロスボーダー貿易の流れが盛んな世界第3位の経済大国であり、HSBCグループのネットワークの中で重要な役割を果たしています。

——日本の顧客に対して、どのような支援を実施されているのでしょうか。

デビッド 大企業、機関投資家、個人投資家、中小企業など幅広いお客様に新しい機会を切り開いていただくことを目的に多岐にわたるサポートを展開しています。具



デビッド・リャオ (David Liao)
HSBCグループ 香港上海銀行
アジア太平洋地域統括 共同最高経営責任者

が顕著ですが、HSBCはどのように進化しているのでしょうか。

デビッド 近年、アジアはeコマースやデジタル決済へと劇的に移行しています。生活にシンプルさと効率性を求める消費者が増えていることから、多くのeコマースプラットフォームと同様に、当社の金融商品もユーザーフレンドリーである必要があります。

金融業界はこうした変化のトレンドを先取りし、革新を遂げなければいけません。これが、当社が2023年10月にリアルタイム決済プラットフォーム「Zengin 24/7」を立ち上げた理由の1つです。

「Zengin 24/7」とは全銀システムを利用した内国為替取引に対応するサービスで、銀行振り込み授受の24時間365日化を実現し事務の省力化に寄与します。

ほかに、お客様の次世代トレーディングをサポートする「HSEvolve」は、急速に変化するマーケットやテクノロジーに対応して、FX取引の実行をより直感的、柔軟かつ効率的にカスタム可能なデジタルプラットフォームです。

お客様のマーケットチャンスを最大限に活用し、クロスボーダー業務を最適化しています。

デジタル環境の急速な進歩に伴い、HSBCのグローバルコネクターとしての役割はこれまで以上に重要度を増しています。世界の変化に応じて進化することで、創立以来158年にわたり行ってきた支援と同じように、お客様の将来のためによりよいサポートをしていきたいと考えています。

D&Iの推進で 価値創出力を高める

——HSBCのESGへのアプローチについてお聞かせください。

デビッド 当社は「多様な機会を切り開く」というビジョンを掲げており、そのコアバリューは「多様性を尊重する」「共に成功を目指す」「責任を持って行動する」「実現させる」を基本としています。ESGに対する私たちのアプローチは、こうしたビジョンやコアバリューが背景にあります。

具体的には、3つの分野「ネットゼロへの移行」「インクルージョンとレジリエンスの構築」「責任あ

る行動」を設定しています。

私たちは気候変動問題の重要性を強く認識し、HSBCの事業運営およびサプライチェーンのネットゼロ達成を30年に設定しただけにとどまらず、広範な業種の顧客の温室効果ガス排出量の削減、低炭素経済への移行支援によりパリ協定の削減目標に適合させ、50年までに顧客自身のネットゼロを実現させるという意欲的な目標に向けて着実に前進を続けています。

さらに、WRI（世界資源研究所）やWWF（世界自然保護基金）と協力して、気候変動ソリューションの商業化を実現するため、5年間の社会貢献パートナーシップを形成しました。1億米ドルの慈善基金を活用し、気候イノベーションベンチャーや自然に基づくソリューションを拡大するために、当社のリソースや知識を集結して、アジアの再生可能エネルギーの普及に向けたエネルギーセクターへの移行を支援しています。

この枠組みの下で、日本自然保護協会と共同で群馬県の森林管理プロジェクトに取り組んでいます。これは二酸化炭素貯留環境の改善

を目指すもので、内閣府から「紺綬褒章」を受章しました。

しかし、真にインパクトのあるESGを推進するためには、組織が自社の建物、慣行や基準を検討しなければなりません。そのポリシーは、東京にある当社のビルでの100%再生可能エネルギーの採用にもつながっています。

——ダイバーシティに関しては、どのような取り組みを行っていますか？

デビッド われわれは、ダイバーシティ&インクルージョンの促進こそが、成長への活力を高めると考えています。スタッフの独自の専門性、能力、幅広い知識、視点を活用することは、お客様の利益への貢献にもつながります。

当社のインクルージョンで柔軟な勤務方針は、さまざまなライフスタイルの従業員をサポートし、ワーク・ライフ・バランス向上を促進しています。日本では、女性従業員の可能性をさらに引き出すためのジェンダー戦略を導入し、25年までに35%の女性がシニアリーダーシップの役割を果たすという世界的な目標にもコミットしています。